

サマーフェスティバル

NSNねりまシニアネットワーク主催の恒例行事で、年間最大のイベントである「サマーフェスティバル2017」は、今年も3月から毎月、サマーフェス企画委員会を立ち上げ、会員の皆様に如何に楽しんでいただくかをテーマにして、いろいろな議論を重ねてきました。

今年15回目を迎えて、真夏の8月27日(日)練馬区民・産業プラザ「ココネリ」で、過去最大の参加者である199名を集めて盛大に行われました。

当日、まず第一部は、山本会長の挨拶からスタートし、新加入団体「さわやか・17」の橋本代表の挨拶と今後の抱負が語られ、今回のメインイベントである作詞家で歌手の「和 由貴子」と、その仲間たちによるライブコンサートがあり、出身地である茨木県の「渡良瀬の風」、「美しい日本」などの名曲がつぎつぎに熱唱されて、盛大な拍手を浴びていました。また今年も「夏の思い出」と「ふるさと」を、会員全員で合唱して盛り上がりました。第二部は恒例の交流会に移り、飲食を共にしながら「テーブル対抗クイズ」や「福引抽選会」などを全員で楽しみ、真夏のひと時が楽しく終わりました。

サマーフェス企画委員長 下河秀行

サマーフェスティバルに

参加して

会場に到着すると、私達「さわやか・17」の席がステージ正面に設えてあり、恐縮してしまいました。

そのおかげもあって、和 由貴子さんの歌を始め、メンバーの指使いまでも鑑賞する事ができた次第。やっぱり生はいいですね。「自分の居場所」はネットの中「なんて言っちゃダメですね。やはり、リアルな体験に勝るもの無し、そんな思いを新たにしま

した。約200人が同じ空間で、思いや時間を共有するなんて素晴らしいですね。会場を後にすると、雨続きだったこの夏も晴れ上がり、「サマーフェスティバル」の名にふさわしいものとなりました。

最後に、イベントの企画・運営をされた委員の皆様、心からの感謝を、お伝えしたいと思います。

さわやか・17 橋本直樹



山本会長挨拶



和由貴子と仲間たち



団体対抗クイズ



さわやか '17



【各会の思い出の行事】

《長瀬ライン下りと宝登山神社》

四季会

平成22年10月5日、会員の住まいが二区分出来たので、東上線組と西武線組でそれぞれ長瀬を目指して出発し、ほぼ同時刻に合流。

駅から岩だたみ通りを抜けるとそこは奇勝・奇岩で有名な長瀬。岩畳・隆起した結晶片岩が文字どおり岩畳となって広がる長瀬の中心地。対岸には秩父赤壁と呼ばれる絶壁や明神の滝がある。荒川は、岩畳で青く淀んだ瀬となり美しさを増す。甌穴（おうけつ）：岩畳を散策していると大小様々な穴があいているのが判る。これは、ポットホールと呼ばれるもので、岩がまだ河床だった頃、水の渦巻き運動によって長い年月をかけ磨耗され丸い穴になったもの。その中でもっとも大きいと言われるものがこの甌穴で、直径1・8m。あらためて自然の力に驚異を感じた。

長瀬の目玉と言えばライン下り。

歓声をあげ、ビニールシートで波しぶきを避けながら貸し切り舟で深まりゆく秋の景色を満喫、途中崖上のカメラマンにポーズを取ったのがこの1枚。



昼食はちよつとリッチに秋の膳、松茸土瓶蒸しと栗ご飯のコース料理。食後ロウバイで有名な宝登山神社参拝。同社（やしろ）は防火の神としても知られる。食後の登りはきつかった。

（桑原）

【これからの住まい方研究会】報告④ 3月16日

○「在宅療養」 武藤 哲

最後はどこで迎えたいですか？
しっかり準備し家族など周囲の人々の理解を得ておけば、自分で決めることができる時代になりました。もし、その希望が「最期は住み慣れた我が家で迎えたい」、「できるだけ長く我が家で暮らしたい」場合に利用できるのが、「在宅療養サービス」です。

どんな時、どんな内容のサービスが使えるのかは、練馬区発行の「住み慣れた自宅でいつまでも自分らしくわが家で生きる」練馬区在宅療養ガイドブック」に書かれています。例えば、骨折で入院、リハビリ終了で「退院できます」と言われても、自宅で暮らせるか不安ですね。研究会ではガイドブックを皆で読むとともに、親世代を在宅療養サービスを利用して介護した方々の体験談を伺いました。

○「私のセカンドライフ」内藤雄幹

後期高齢を過ぎ八十路を越えると、同期会でも無病は少なく、数病息災が増えてくる。それにつれて私としてはPPKが願望になってくる。そこで、シアのピンピン（PP）対策としては、適度な興奮を伴う活動、特に人生を楽しむ生き方として趣味を持つことがよい。これからも多趣味に挑戦しつつ、NSNのオープン行事にも積極的に参加して、交流活動を広めたい。また、新エルフの活動では、カラオケ・エッセイ・ユーモア・俳句の各会の活性化と、脳の活力増進の両面から、「趣味縁」の繋がりを大切にしていきたい。

人生の持ち時間が射程距離に入ってきた。しかし枯れてしまつには惜しい時間が残っている。終盤戦をデザイン通りに描けるかどうか分からないが、コロリ（K）は「神のみぞ知る」領域である。祈るしかないか。

オープン参加行事のご案内

〔定例行事〕

☆ユーモアサークル

平成24年ユーモア講習会を開催し、そのままオープン参加行事として同好会がスタートしてから、隔月開催で30回続いています。

ユーモアは既存のユーモア誌などからの情報だけでは不十分で、なかなか相手の感動を得ることは困難です。当サークルでは、毎回各人の3分間程度のスピーチにより、ユーモア感覚の自然な醸成を企画しています。司会が会員が毎回交代で担当し、その回の「テーマ」を出題しています。勿論テーマに寄らないスピーチも歓迎です。色んな体験談が飛び出し、楽しい会が続いています。

(日時) 奇数月第4火曜日 14:00～17:00
(場所) 練馬高野台駅前地域集会所
(会費) 300円(当日参加者)
(申込) 新エルフ内藤 ☎(6760) 2815

☆太極拳の会

深い呼吸とゆったりした動きで、心も体も健康に！

(日時) 第1・3火曜日 14:00～15:30
(場所) 東大泉中央地域集会所
(会費) 月2200円
(申込・問合せ) 一三の会伊藤 ☎(3922) 8803

☆ミニフリッジを楽しむ会 ♡♡♡♡

コントフラクトフリッジの前半(オークション)を省略・簡単にしたミニフリッジです。
(日時) 毎月第4水曜日 14:00～16:30
(場所) 男女共同参画センター

ネーる3階 研修室
(会費) 無料
(申込) ひとみ会 角地 ☎(3904) 8005

☆高野台エッセイクラブ

自作の随筆・時事評論などの発表と懇談会。自作品のコピーを10部ご持参ください。

(参加者に配布用)
(日時) 偶数月第4火曜日 14:00～17:00
(場所) 練馬高野台駅前地域集会所
(会費) 300円(当日参加者)
(クラブ代表) 堀田 剛
(申込) 新エルフ内藤 ☎(6760) 2815



【編集会議に参加して】

編集委員の皆さんが、常に各会の情報を収集して、企画から原稿依頼・関連写真集め等種々の議論をしながら、NSN会報を作成しておられる現場を体験しました。

その上、限られた予算の中で少しでも皆さんに注目して読んでいただけるようにと、カラー印刷にも取り組んでおられます。

現在17団体が所属しており、その一部をオープン参加行事として紙上に掲載しているものの、成果はどうでしょうか。毎月の活動報告を交換して、他の会の行事を参考にすることも考えられます。また、ホームページの活用も一案と思われます。

トントンねりま 荒木

【編集後記】

今月号のカラー写真は如何だったでしょうか？ 白黒写真は紙質の問題もあり、美しい表現ができませんが、白黒印刷でも文字原稿だけでなく写真が入ると、表情が豊かになります。8月号の二面三画はイラストでなく、写真が入ったので良い頁になった例だと思います。これからも原稿と共に写真を提供して頂くことを期待します。

松岡

NSN定例運営連絡会 開催メモ

▼H29年7月22日(土) 14:00～16:00
▼H29年8月26日(土) 14:00～16:00
各委員会連絡確認事項

- ・シニアセミナー・講演会・会報
- ・サマーフェスティバル
- ・これからの住まい方研究会
- ・長い目委員会について